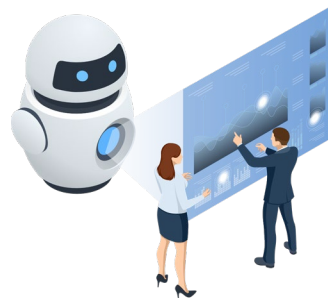


AIO対策チェックリスト

ホームページご担当者さまがAIO対策を実践する際の確認項目です。
ユーザーの役に立ち、検索エンジンや生成AIにも理解されやすい
ホームページを目指すためのチェックリストとしてご活用ください。

※すべての項目が必須というわけではありません。ページの目的や内容、運用状況に応じてご確認ください



1.コンテンツの作り方

- ☐ 各ページの冒頭や重要な箇所に、ユーザーが求める答えを分かりやすく示している
- ☐ ユーザーの疑問や目的（検索意図）に対して、必要な情報を過不足なく提供している
- ☐ 自社独自の視点・経験・事例を提供している
- ☐ AIや検索エンジンのためではなく、ユーザーの役に立つことを優先している
- ☐ 内容に合った高品質な画像や動画を掲載している
- ☐ ユーザーに分かりにくい専門用語には、必要に応じて説明や定義を添えている
- ☐ 見出し・段落・箇条書きを使い、ユーザーが内容を理解しやすい構成にしている
- ☐ 必要に応じて、比較・選定基準（メリット／デメリット、他手法との違い）を示している
- ☐ 生成AIを使って作成した内容は、人が事実確認・編集し、独自の価値を加えている

2.信頼性・専門性（E-E-A-Tの観点）

- ☐ 一次情報・実体験（導入事例・独自調査）を盛り込んでいる
- ☐ 公開日を表示し、内容を更新した場合は更新日も正しく表示している
- ☐ 記事の内容に応じて、著者・監修者名とプロフィール（専門分野・実績）を掲載している
- ☐ データ・統計には出典を明記している
- ☐ 会社概要・問い合わせ先・プライバシーポリシーを整備している

3.技術・構造化対策

※専門的な確認や実装については、制作会社にご相談ください

- ☐ Googleがページをクロールでき、インデックス登録を妨げる設定がないことを確認している
- ☐ スマートフォンでも読みやすく、操作しやすい
- ☐ 内容を伝える画像には、その内容を表す適切なalt属性を設定している
- ☐ 表示速度やレイアウトに大きな問題がない
- ☐ ユーザーの疑問を解消するために、必要に応じてFAQを用意している
- ☐ ページ内容に適した構造化データを、必要に応じて正しく実装している
- ☐ ページの内容を正確に表すtitleと見出しを設定し、meta descriptionを適切に記述している
- ☐ 内部リンクで関連ページをつないでいる
- ☐ 重複ページや重複コンテンツを適切に整理している
- ☐ 常時SSL (HTTPS) 化に対応している

4.効果計測・運用

- ☐ ChatGPT、Geminiなどでの引用・参照状況を、参考指標として定期的に確認している
- ☐ Search Consoleで、指名検索を含む検索クエリ、表示回数、クリック数の変化を確認している
- ☐ 利用可能な場合は、Search Consoleの生成AIパフォーマンスレポートで表示状況を確認している
- ☐ アクセス解析ツールで、識別できる範囲のAIサービス経由流入を確認している
- ☐ コンテンツを定期的に見直し、必要に応じて更新している

【参考資料】

[Google検索の生成AI機能向けにウェブサイトを最適化する](#)

[有用で信頼性の高い、ユーザーを第一に考えたコンテンツの作成](#)

ご相談、ご依頼はお気軽にお問い合わせください

<https://www.takeda-prn.co.jp/inquiry/service/homepage>